

研究課題名	教育入院による腎予後改善に関する検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 腎臓内科
研究責任者(職名)	北村 峰昭 (医長)
研究期間	承認日 ~ 2024年 3月 31日
研究目的と意義	慢性腎不全教育入院は、腎臓の機能をより長く保つとされていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で当院では現在ほとんど行えておりません。新型コロナウイルス感染症が終息に向かいつつある今日、当院における腎不全教育入院の意義について再確認することを目的としています。腎不全の患者さんの腎機能がより長く保つことができるよう、腎不全教育入院を推進する根拠としたいと考えております。
研究内容	●対象となる患者さん
	2016年4月～と2023年12月に当院腎臓内科にて腎代替療法を開始した年齢が18歳以上の患者さん
	●利用する情報
	患者背景：慢性腎不全の原疾患、病歴、年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴 ・自覚所見：呼吸苦の有無、下腿浮腫の有無 ・臨床検査：Cr、eGFR、HbA1c、Hb ・画像検査：胸部CT、胸部レントゲン（胸水の有無） ・併用薬：RAS阻害薬、SGLT2阻害薬、抗糖尿病薬 ・腎不全教育入院、心不全入院の有無：カルテの入院サマリーより判断
	●研究方法
	上記の情報をカルテより収集し、腎不全の教育入院が有用であったかを検討します。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095(822)3251 (内線3553) 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)